TNC 通信

富谷市日中友好協会
2026年10月
第281号

10月4日(日)10:00～
富谷宿「街道まつり」に出店します

上海邨さんの小籠包等の販売や中国小物の販売、日中友好活動の紹介等をします。出店場所は、昨年と同じく、しんまちめぐり第２駐車場です。

来てね 待ってるよぉ～！



10月31日(土)09:30～
富ケ丘市民センターまつりに参加します

富ケ丘市民センターの地域行事、市民センターまつりに参加します。中国語講座のメンバーを中心に、富谷日中コーナー（12時頃終了）を設け、中国語クイズ、写真展示、中国茶試飲などを行います。皆さんのご来場をお待ちしております。

「墓之者国帰國中」 仙台市営 いずみ墓園内(仙台市泉区)

仙台市営いずみ墓園内に、「中國帰国者之墓」の墓碑があります。2011年12月に、宮城県日中友好協会の江幡武前会長をはじめ多くの方々のご支援によって建てられました。この墓碑について、2012年１月発行の「日本と中国」宮城県版に掲載されています。以下、掲載記事を転載します。

待望の中国帰国者之墓開眼供養の運び

宮城県内に定住し、高齢化が進むようになった。中国帰国者の納骨墓建立を目指して二〇〇九年秋、宮城県日中友好協会は帰国者有志と支援者とともに「中国残留邦人永住帰国者等の記念納骨墓建立協力会」を結成し、翌年二月から署名、募金活動を展開してきた。八月、宮城県知事・仙台市長に二一一六名分の署名簿を添え支援を求める要望書を提出。その結果、仙台市営墓地「いずみ墓園」（泉区）の一角に遺骨を納められる場所：仙台市泉区杜沢字九の森一―一

県・市に対する補助申請も認められ助成金は記念碑と永代使用料（計三九〇万円）に充てられることになった。墓は六十人分の遺骨が納まる広さで碑銘は「中国帰国者之墓」とし、碑文には中国残留邦人が歩んだ苦難の歴史と日中不再戦を誓う日中友好の礎となることを願う内容で、日本語と中国語で刻まれる。

いずみ墓園「中国帰国者の墓」落慶式（予定）
日時：平成二三年十二月十八日 十四時～十五時



戦前・戦時中に国策で旧満州（中国東北部）に送り出され、その後宮城県内に定住し暮らす帰国者は仙台市しを中心に約九十人。自分たちが入る事ができる墓が早急に求められていた。

【いずみ墓園の墓碑と碑文】



